

「松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校 再編活性化 意見聴取会」 議事録（要点筆記）
（米ノ庄小学校）

日時：令和6年7月29日（月）19:00～20:45

場所：米ノ庄小学校 ランチルーム

出席者：

【地域住民・保護者】25人

【学校関係者】2人

【教育委員会】教育長 中田雅喜

事務局長 刀根和宜

事務局次長 金谷勝弘

教育総務課長 西浦有一

教育総務課 学校活性化推進室長 北畠和幸

教育総務課 学校活性化推進室主幹 清水尚美

教育総務課 学校活性化推進室主任 地主博一

学校マネジメントコーディネーター 田中伸之

挨拶：教育長

日頃は、学校教育にご協力いただき、ありがとうございます。

今、先が見通せない時代、これまでの価値観では判断できない時代と言われています。そんな時代を生きる子どもたちには、例えば地域に出かけて行って課題を見つけたり、協働的な学びを通して解決を図ったりしていくことが必要です。そして、そのためにはある一定の学校規模、施設や環境が大切だと言われています。

教育委員会では「どういう学びが子ども達にとって一番良いのか。」について、議論をしてきました。また、地域に出向いて、ご意見を聞かせていただけてきました。本日は、皆様のご意見をもとに作り上げてきた方向性について、ご説明させていただきます。

子どもたちが、自分の子どもにも「ここの学校で教育を受けさせたい。」と思うような学校を作っていきたいと思います。そのためには、地域の皆様、保護者の皆様のご意見やご協力が不可欠です。

忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。

教育委員会自己紹介

資料説明：事務局

資料『松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校 再編活性化に関わる意見聴取会』

（4ページ）

・全国的に児童生徒数が減少していることから、平成26年度に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」（文部科学省）が策定された。

・松阪市教育委員会では、令和2年度に検討委員会を立ち上げ、外部の委員による検討を12回重ね、令和5年3月に「松阪市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」を策定した。

(2・3ページ)

・松阪市では、4人グループ5つで議論を深められるなどの理由から、「最低限確保したい学校規模」を1学級20人程度とした。

・松ヶ崎小学校は複式学級を有することから、対象校である。

(4ページ)

・令和5年度、松ヶ崎小学校において、学校との関わりが深い方々から意見交換を開始した。

・松ヶ崎住民自治協議会から「保護者の意見を尊重していく必要がある。」とのご意見をいただいた。それを受けて、保護者を中心に協議を行い、「米ノ庄小学校と統合する方向で協議を進めていく。」との結論に至った。

・今年度に入り、米ノ庄小学校に関わりが深い方々へのご説明を開始した。

(5ページ)

・子どもたちの学びを最優先にして、両地域の皆様からご意見をいただきたい。

・今年度より、米ノ庄小学校・三雲中学校が「リーディングDX」(文部科学省)の指定を受け、タブレット端末を活用した先進的な取組を進めていく。松ヶ崎小学校、天白小学校、鶺鴒小学校、小野江小学校が協力校。

(6ページ)

・令和6年7月17日に「松ヶ崎小学校・米ノ庄小学校学校活性化協議会」が立ち上がった。

・学校活性化協議会内に設置する準備部会は、地域・学校運営協議会・保護者・学校の代表者で委員を構成する。検討内容としては、校名・校歌・カリキュラム・学校行事・学校予算・学校備品・通学路・スクールバス・放課後児童クラブ・コミュニティ・スクール・PTA組織などがある。

・協議内容を、『学校活性化協議会だより』の各戸配布や、市ホームページで周知を図る。

(7ページ)

・松ヶ崎の地域や保護者の方々が、特に関心の高かったものを挙げた。

・「児童の環境変化への対応」として、松ヶ崎小学校の教員を、米ノ庄小学校に移動させることも考えられる。

・スクールバスの運行方法などの詳細は、準備部会で検討していく。

本日は、「子どもたちのより良い教育環境の実現」の観点から、皆様のご意見をお聴かせください。

質疑応答

参加者

現在在学中の児童にアンケートは実施していないのか。大人だけの意見で決めてよいのか。

事務局

現在在学中の児童へのアンケートは実施していませんが、令和3年度にアンケートを実施しています。

昨年度、松ヶ崎小学校と米ノ庄小学校の高学年で交流学習を行っていただきました。元々顔見知りの

子どもたちもいたようで、交流が進むにつれて友達の輪が広がっていく様子が見られました。その後の子どもたちの振り返りでは、「楽しかった。」「たくさんの人数で遊ぶことができた。」「大人数でしかできない遊びができて良かった。」などの感想が聞かれました。

参加者

松崎浦町や松ヶ島町からは、国道を2つ越えてくることになる。港小学校と統合した方が通学がスムーズなのではないか。

保護者や地域住民から、そのような意見は出てこなかったのか。

事務局

色々なお考えの方がいらっしゃいました。

松ヶ崎小学校と地続きの学校は、松江小学校、港小学校、天白小学校、米ノ庄小学校があります。港小学校は鎌田中学校区になりますが、松ヶ崎の皆様には、松ヶ崎地域を分割する、あるいは、中学校区が変わるといってお考えはありませんでした。また、昨年度天白小学校と松ヶ崎小学校との交流学習も行いましたが、児童数の差が大きく、松ヶ崎小学校の子どもたちが圧倒されているような様子もありました。そのようなことから、「米ノ庄小学校との統合」の方向で、協議を進めていくことになりました。

参加者

資料8ページの児童数の将来推計は、自然減少によるものなのか。

旧三雲町に入居を希望する人はたくさんおり、仮に旧三雲町を住宅地域と捉えて市街化調整区域を外したら、人口は2倍になる。

市として、教育委員会として、児童生徒数をコントロールしていく意向はあるのか。ないのであれば、全国的な少子化に併せて自然に減少していくことになり、学校統合ばかりになるのではないか。

教育長

資料8ページの児童数の将来推計は、現在の生まれている子どもの数の推移ですので、実際の数になります。

教育委員会の基本的な考え方として、「子どもの学び」が前提にあります。松阪で教育を受けた子どもたちが、将来「自分の子どもにも松阪の教育を受けさせたい。」という思いで松阪に帰ってきてくれるような教育が、人口増につながる具体的な施策になると考えています。

香肌小学校は27人の全校児童の内、24人が他所から来た子どもたちです。それは、香肌の自然を生かし、地域と共に進めている教育活動の成果だと思えます。

市街化調整区域については、教育委員会は担当ではありませんが、関係部局とも連携を図りながら、地域の活性化や伝統文化の継承などの取組も進めていきたいと思えます。

事務局

市街化調整区域については、良質な農地を守るという考え方も大切であると考えています。

関係部局にお伝えさせていただいていますが、すぐに変更できるような案件ではないことをご理解いただきたいと思います。

参加者

鵜小学校が複式学級になった時もあったが、五主町や笠松町に団地ができたことで、児童数が増えた。松阪市政として、「旧三雲町を住宅地域にする。」という位置づけがなされれば、一時的に児童数が増えることになると思う。

松ヶ崎は、昔は一志郡であったこともあり、米ノ庄との繋がりは強い。三渡中学校では、一緒に勉強をしていたこともあり、米ノ庄小学校に来ていただくのが良いと思う。

参加者

孫が「米ノ庄小学校は受け入れる側やで、何の問題もない。」「校歌に『米ノ庄』という歌詞があるが、松ヶ崎小学校の子どもたちもそれを歌うのかな。」と言っていた。

校歌が変わってしまうと、三雲という考えが薄れるような気もする。

準備部会で色々議論をしてもらおうことになると思う。

教育長

「吸収」という言葉が使われたこともあるが、「子どもの学び」という視点では対等であるべきだと思っています。準備部会では、「子どもの学びはどうなのか。」という視点を大切にして議論をしっかりしていただきたいと思います。

教育委員会からは、様々な事例を紹介させていただきます。校歌については、例えば子どもたちの手で作り上げていったという事例や、有名な作曲家に作ってもらった事例などがあります。

参加者

資料8ページには、統合年度の2年生が30人と記載されている。もし人数が増えて2クラスになる場合には、教室数は大丈夫なのか。

資料6ページの「新設統合」について、もう少し詳しく説明をしていただきたい。

将来、米ノ庄小学校が天白小学校と統合する話になった場合、「天白小学校に来るのだから、全て天白小学校でいく。」と言われれば、とても傷つくのではないかと思う。松ヶ崎には、今そのような思いを持ってみえる方がいると思う。相手の痛みを知って、理解したり提案したりしながら、円滑に協議を進めていけたらと思う。米ノ庄の皆様も、どうかそのことを頭の片隅に置いておいてほしい。

事務局

ある程度の時点で児童数の見込みが立つので、必要に応じて特別教室を普通教室に変えたり、増築したりします。

教育委員会としては、「吸収合併」という形は考えていません。あくまでも、ひとつの学校とひとつの学校の統合として、議論をしていただきたいと考えています。

教育委員会として決めている方向性はありません。校名について言えば、例えば先日開催された東部中学校区の学校活性化協議会では、「東部北小学校・東部南小学校」という案や「大平小学校・飯野小学校」という案、公募する案などが出されました。さらに、それらを組み合わせて「東部北小・東部南小／大平小・飯野小／その他」という形で公募する案などが出されました。

松ヶ崎・米ノ庄についても、今後の協議会や準備部会で、このような議論をお願いしたいと思っています。

参加者

学校で交流学習が進められていると聞き、それなら地域でもということで、明日、米ノ庄コミュニティセンターにて水風船大会を開催する。そこに、松ヶ崎小学校のお子さんも参加することになっている。

参加者

本日、松ヶ崎小学校の保護者から「明日の水風船大会には参加できないが、その取組がとても有難いです。」という電話をいただいた。参加できない理由として、松ヶ崎の学童に案内がされておらず、学童の行事と重なってしまったということであった。松ヶ崎小学校のほとんどの子どもが学童に行っているようで、「松ヶ崎小学校の子どもの参加はありましたか。」という心配もいただいた。そのお電話から、子どもたちのことを一番に考えてみえることがよく分かった。

初めてのことだったので、こちらも学童にまで気が回らなかった。今後は、しっかり連携を図りながら、気軽に参加していただける機会を増やしていきたいと思う。

教育長

米ノ庄コミュニティセンターが中心となって活動をしていただいていることに感謝申し上げます。

先日、ある学校で登下校の見守りボランティアを20年間してみえる方のお話を聞きました。

ある子どもが、結婚して奥さんを連れて会いに来てくれたそうです。当時、その子が学校に行きたくない時、ボランティアの方に「おはよう。」と言ってもらったことが嬉しかった、という話をしてくれました。子どもたちは、地域の方との人間的な触れ合いの中で、生きていく上で大切な何かを教えられているのではないかと思います。

米ノ庄の地域には、子どもたちをしっかりと見ていただいている環境があると思います。教育委員会としても、協力できることがあればさせていただきたいと思います。

参加者

米ノ庄は、子育てしやすい町だと感じている。

しかし、学童の「よねっこ」は、3年生までしか預かっていただけない。統合しても、松ヶ崎の学童が続けていただけるのであれば、米ノ庄小学校の子どもも6年生まで預かっていただけるようになると助かる。

松ヶ崎小学校の校舎を、どのような形で残すのか。

教育長

6年生まで学童が利用できるような仕組みを検討していきたいと思います。

校舎の跡地活用が、地域の活性化に繋がっている事例もありますので、地域に合った活用方法を、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。必要に応じて、教育委員会から先進事例を提供させていただいたり、関係者の方々に実際に見に行ってもらったりすることも考えています。防災の観点については、関係部局の意向も大切にしながら進めてまいります。

参加者

「学校活性化推進室」という名称が珍しいと思った。この部署はいつできたのか。

事務局

今年度の4月にできました。

参加者

他の市町にも、同じような部署が作られているか。

事務局

私どもは、教育総務課として動いていたものが、今年度より「学校活性化推進室」になりました。他の自治体でも、同じように「学校再編編成室」などの名前で新たに組織されることがよくあります。

参加者

資料1ページに、「再編活性化に関わる」という記載があるが、これは「再編をすることが活性化に繋がる」という考えで活動している部署ということでしょうか。

教育長

一昔前は、「統廃合」という言葉を用いることが多くありました。ただ、「統廃合が子どもの学びにとってどういう印象を受けますか。」ということになれば、私はマイナスだと思っています。

必要に応じて再編をすることで、「地域の発展や活性化」「学びの進化や深まり」につなげていくという意味合いを込めて、松阪市では「学校活性化推進室」としました。

子どもたちにも、「一緒になる学校でどんな学びをしていくのか。」の議論をしてほしいと思っています。

参加者

先程、香肌小学校の話があった。私は、香肌が全国に誇れる場所だと思っている。

海辺の小学校という視点で松ヶ崎小学校を見た時、香肌小学校に勝るとも劣らない少人数教育ができる可能性があると思っている。

個人的には、統合した方が学校が活性化する可能性があると思っている。資料5ページに書かれている「社会性や協調性の育成」についても、児童が多い方がより効果が出ると思う。

「郷土に対する誇りや愛着の育成」については、統合後に考えていくことなのか。それとも、統合前の準備部会で検討していくことを考えているのか。また、教育委員会として、「地域と学校の連携」について具体的に絵が描かれているのか。

教育長

地域には、伝統や文化があります。子どもたちがそれらを学ぶことは、無くてはならないと思っています。

近年、地域について学んだり、地域の課題を解決したりしていく「探究的な学習」が大切にされてい

ます。私自身も、単に学力だけでなく、「郷土に対する誇りや愛着の育成」が、大きな教育効果に繋がるものと認識しています。やはり、地域があって、学校があって、学びがあると思っています。

香肌小学校については、15、6年も前から、地域・学校・行政が連携し、特色ある教育に力を入れてきました。それらの教育は、一朝一夕にできるものではありません。その積み重ねが現在の他の小学校との差に表れていると思います。

教育には、不易の部分と流行の部分があります。流行の部分については、スピード感を持って変えていかなければいけません。この再編活性化の議論においても、不易と流行をしっかりと見極めながら議論を進めていきたいと思っています。

参加者

松ヶ崎小学校には、どういう感じの子どもや保護者がいるのか教えてほしい。

教育長

私は、松ヶ崎小学校の子どもたちは、とても明るく、少人数の中でよく頑張っていると思います。リーダーシップや思いやりの心を持った、純真無垢な子どもたちだと思います。一方で、少しこじんまりとしているところもあります。例えば、勉強のできる子が「私はこう思う。」と発言すれば、皆が「そうだ。」とってしまう部分があるかもしれません。

次長

松ヶ崎の出身で、米ノ庄小学校の友達もたくさんいます。私の娘も松ヶ崎小学校に通っていたが、松ヶ崎小学校の子どもたちも米ノ庄小学校の子どもたちも何も変わりません。挨拶もよくするし、勉強もスポーツも頑張っています。

三雲中学校で8年間教鞭をとっていたことがありますので、保護者の中には教え子もたくさんいます。話を聞いてみると、やはり「三雲中学校に行きたい。」と言っていました。例えば、ソフトボールなどのスポーツにおいても、松ヶ崎と米ノ庄の交流があります。

本日の意見聴取会で、米ノ庄の皆様から「統合に反対」というご意見がなく、安心しているところです。

参加者

私は、三渡中学校の最後の入学生。私が中学校に入学する時は、どもならん生徒は松ヶ崎が多かった。しかし、入学してからは、どもならんのは米ノ庄だった。

3人の孫が松ヶ崎小学校を卒業しており、4人目が年少なので、統合後に入学することになる。今の松ヶ崎の子どもたちは、(当時のように)どもならんということはない。

参加者

スクールバスについて、タクシーなのか、市営バスなのか、2種免許を持った運転手なのか、何往復もするのか、などが気になった。費用面も気になる。

事務局

ルートや停留所などについては、主に松ヶ崎地域の話になると思いますが、今後の準備部会で決めて

いただくこととなります。

バス会社に委託する方法もありますし、松阪市として2種免許の資格を持った運転手を雇用する方法もあります。なるべく効果的な方法を、これから決めていきます。

司会

他にご意見がございましたら、学校または教育委員会にご連絡ください。

参加者

8/22 に意見交流会を開催する。松ヶ崎小学校と米ノ庄小学校の統合について、地域・保護者・CS・教職員など、様々な立場の方々と、グループに分かれて意見交流をしていただく。

ぜひ出席をお願いしたい。

挨拶：局長

本日は、貴重なご意見たくさんいただき、ありがとうございました。いただいたご意見を、今後の準備部会等での協議にしっかり繋げていきたいと思えます。